

# Art Insight Kagawa



埼玉・和光市民文化センターで上演された「かぐや姫」＝2006年7月

「かぐや姫」は「竹取物語」を題材にした鼻の作品。かぐや姫が精神的に成長しながら最愛のおきな、おつなど別れて月に帰っていくまでをコミカルかつ感動的に描いている。2003年に東京で初演後、プラハ、キャンベラなど国内外で演じられ、すべて平井本

人が指揮するスタイルを取って評価を得ている。ウェルテやブッチーニなど、イタリアオペラの香りを感しさせる美しいメロディーの一方、声楽のアロだけでなく、愛好家や未経験者も歌える平明で耳に残りやすい音楽が特徴。加えて子どもから高齢者まで、親子孫



平井秀明



浜畑賢吉

## 「かぐや姫」地元キャストで

### 県が今年末、平井秀明指揮

# みっちり稽古「市民参加」オペラ

この田中雅純・香川短大教授による歌唱練習を27日から50回ほど続けて12月28日の本番に備える。

合唱は一般の混声合唱と児童合唱で編成。また県内から集めたアンサンブルと8人の弦楽アンサンブルが共演する。さらに10月にさぬき市で開かれる「第25回かぐや姫カーニバル長尾」の実行委から衣装や舞台装置の協力を受け、より低予算での舞台づくりを試みる。

平井、浜畑を迎えたらワークショップは高松市玉藻町のアルファあなごホールリハーサル室などで土曜日に、田中教授が指導する練習は毎月曜日を中心に同会場などで行う。参加無料。本番のコンサートは同ホール小ホールで午後6時開演。

若手音楽家の育成事業として企画。舞台芸術に触れる機会がなかった人にも芸術の輪を広げ、地域文化の活性化を図る。

※ ※

問い合わせは同ホール、電話087(823)3128。

県が今年末、若手指揮者の平井秀明が作曲・台本を手がけた話題のオペラ「かぐや姫」の公演を開く。平井自身の指揮の下、地元から集めたキャスト、合唱団などがワークショップを重ねてつくり上げる「市民参加型」のステージ。クラシックの初心者にも親しみやすい内容で、音楽の魅力を広く伝える新たな趣向のコンサートが実現する。

の3世代が一纏に楽しめることを目指してつくり出されている。日本語での上演。時間は約1時間半。

今回はメインキャストに県内の若手音楽家を起用するとともに、合唱団と衣装やメイクなどのスタッフも公募。平井と演出を務める浜畑賢吉のワークショップを計らわずに行うほか、かぐや姫に出演経験のあるバリオ